

中標津町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化による気候変動問題は、集中豪雨や豪雪による自然災害をはじめ、農作物や生態系などへ影響を及ぼしています。

地球温暖化の抑制に向けては、世界規模で脱炭素社会の実現に向けた動きが活発化しており、国においても2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを国際公約として世界に宣言し、着実に推進していくとされています。

本町では、これまで全国初となるJ-クレジットの取得や、中標津町環境基本条例を策定するなど環境に配慮した取組みを進めています。北海道遺産である格子状防風林をはじめ、豊かな自然環境を未来に引き継ぐためには、より一層、地球温暖化対策を推進する必要があります。2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロにする脱炭素社会の実現を目指し「ゼロカーボンシティ」を宣言します。

令和5年（2023年）3月17日

中標津町長 西村 穰